

# ◎日本国とフィリピン共和国との間の友好通商航海条約

## (略称) フィリピンとの友好通商航海条約

昭和五十四年五月十日 マニラで署名  
 昭和五十五年五月十四日 国会承認  
 昭和五十五年六月十七日 批准の閣議決定  
 昭和五十五年六月二十日 東京で批准書交換  
 昭和五十五年七月十二日 公布及び告示  
 (条約第一二号及び外務省告示第二四八号)  
 昭和五十五年七月二十日 効力発生

### 目次

ページ

前文	一〇二
第一条 入国、滞在、旅行及び居住	一〇二
第二条 1 身体の保護保障	一〇二
2 被抑留者の保護	一〇二
第三条 課税、出訴権、事業活動等	一〇三
第四条 財産の保護保障	一〇三
第五条 為替管理	一〇三

フィリピンとの友好通商航海条約

第六条	輸出入の制限、禁止	一〇三三
第七条	関税、課徴金、通関手続、内国課徴金等	一〇三四
第八条	競争制限的な事業上の慣行に関する協議	一〇二五
第九条	貿易の拡大強化のための協力	一〇二六
第十条	科学及び技術に関する知識の交換及び利用の促進	一〇二六
第十一条	海運	一〇二六
第十二条	海洋汚染の規制のための協力	一〇二八
第十三条	第五条から第七条までの規定の適用除外	一〇二九
第十四条	一般適用除外事項	一〇二九
第十五条	1 協議	一〇三〇
	2 紛争の解決	一〇三〇
第十六条	旧条約の失効	一〇三一
第十七条	批准、効力発生、有効期間、終了及び改正	一〇三一
末	文	一〇三一

○議定書

前	文	一〇三三
1	永住の許可	一〇三三
2	旅券及び査証	一〇三三
3	会社の定義	一〇三三
4	不動産等に関する待遇	一〇三三

5	投資の許可、会社の組織等に関する待遇	一〇三三
6	無体財産権	一〇三四
7	第三国国民が支配的利益を有する会社に対する条約上の利益の制限	一〇三四
8	財産の制限及び正当な補償	一〇三四
9	ガット及び国際通貨基金協定に基づいて有する権利及び義務	一〇三四
10	「関係国際協定」の定義	一〇三五
11	原産地産品	一〇三五
12	海運上の慣行の遵守	一〇三五
13	海運の発展のための協力	一〇三五
14	汚染物質の排出の際の措置	一〇三六
15	条約第十三条(b)の規定にいう利益	一〇三六
16	平和条約第二十一条対象地域に原籍を有する者に対する待遇の適用除外	一〇三六
末	文	一〇三六
	○東南アジア諸国連合特惠に関する交換公文	
	日本側書簡	一〇三八
	東南アジア諸国連合特惠に関する協議	一〇三八
	フィリピン側書簡	一〇三九
	○貿易の促進に関する交換公文	
	フィリピン側書簡	一〇四〇
1	外貨獲得の増加、輸出の多様化及び両国間貿易の増加率の拡大	一〇四〇

フィリピンとの友好通商航海条約

一〇二〇

2 日本国政府による援助……………一〇四〇

3 経済使節団の交換及び実業界の間の緊密な接触の促進奨励……………一〇四〇

4 協議……………一〇四一

日本側書簡……………一〇四二

○投資保護協定締結交渉に関する交換公文

日本側書簡……………一〇四三

1 協定締結のための交渉の開始……………一〇四三

2 日本国政府の立場への留意……………一〇四三

フィリピン側書簡……………一〇四四

○貿易制限の事前通報等に関する交換公文

フィリピン側書簡……………一〇四五

1 輸出入の制限又は禁止に関する情報の通報……………一〇四五

2 海運上の慣行の遵守と経済的緊急事態……………一〇四五

日本側書簡……………一〇四六

日本国とフィリピン共和国との間の友好通商航海条約

日本国及びフィリピン共和国は、

両国間に存在する友好の関係を維持し、及び強化することを希望し、並びに

経済の発展のために両国それぞれが必要とし、及び目的とするところに従つて、相互に有利な基礎の上に両国間の貿易及び通商の発展を促進することを希望して、

友好通商航海条約を締結することに決定し、このための全権を有する、内閣総理大臣大平正芳及び外務大臣園田直と大統領フェルディナンド・E・マルコス及び外務大臣カルロス・P・ロムロは、それぞれ日本国及びフィリピン共和国のために、次の諸条を協定した。

第一条

いずれの一方の締約国の国民も、他方の締約国の領域への入国並びに当該領域内における滞在、旅行及び居住に関するすべての事項について、第三国の国民に与えられる待遇よりも不利でない待遇を与えられる。

第二条

1 いずれの一方の締約国の国民も、他方の締約国の領域内において、いかなる場合にも国際法の要求する保護及び保障よりも少なくない身体の不測の保護及び保障を享受する。

フィリピンとの友好通商航海条約

TREATY OF AMITY, COMMERCE AND NAVIGATION  
BETWEEN JAPAN AND THE REPUBLIC OF THE  
PHILIPPINES

Japan and the Republic of the Philippines,  
Animated by the desire to maintain and  
strengthen the amicable relations existing  
between the two countries, and

Desirous of promoting the development of  
trade and commerce between the two countries  
on a mutually advantageous basis in accordance  
with their respective needs and objectives for  
economic development,

Have resolved to conclude a Treaty of  
Amity, Commerce and Navigation and Masayoshi  
Ohira, Prime Minister and Sunso Sonoda,  
Minister for Foreign Affairs, for Japan,  
and Ferdinand E. Marcos, President and  
Carlos P. Romulo, Minister of Foreign Affairs,  
for the Republic of the Philippines, having  
full powers and authority for that purpose,  
have agreed upon the following Articles:

ARTICLE I

Nationals of either Party shall be accorded  
treatment no less favorable than that accorded  
to nationals of any third country with respect  
to all matters relating to their entry into,  
sojourn, travel and residence within, the  
territories of the other Party.

ARTICLE II

1. Nationals of either Party, within the  
territories of the other Party, shall enjoy  
the most constant protection and security for  
their persons, in no case less than that  
required by international law.

被抑留者の保護

2 いずれか一方の締約国の領域内で他方の締約国の国民が抑留された場合には、その者の要求に基づき、最寄りの地にある当該他方の締約国の権限のある領事官に直ちにその旨が通報されるものとし、また、領事官は、当該一方の締約国の法令に従つてその者を訪問し及びその者と通信することが許される。その者は、当該一方の締約国の法令に従い、(a) 相当でかつ人道的な待遇を受け、(b) 自己に対する被疑事実を正式にかつ直ちに告げられ、(c) 自己の弁護のための適当な準備に支障のない限り速やかに裁判に付され、及び(4) 自己の弁護に当然必要なすべての手段（自己が選任する資格のある弁護人の役務を含む。）を与えられる。

### 第三条

1 いずれの一方の締約国の国民及び会社も、他方の締約国の領域内において、税金の賦課、すべての審級にわたり裁判所の裁判を受ける権利及び行政機関に対して申立てをする権利契約の締結及び履行、財産権、法人への参加並びにあらゆる種類の一般の事業活動及び職業活動の遂行に関するすべての事項について、第三国の国民及び会社と与えられる待遇よりも不利でない待遇を与えられる。

2 1の規定にかかわらず、各締約国は、相互主義に基づき又は二重課税の回避若しくは歳入の相互的保護のための協定により、租税に関する特別の利益を与える権利を留保する。

2. If, within the territories of either Party, a national of the other Party is taken into custody, the nearest competent consular officer of such other Party shall on the demand of such national be immediately notified and shall be permitted to visit and communicate with such national in accordance with the laws and regulations of the former Party. Such national shall, in accordance with the laws and regulations of the former Party: (a) receive reasonable and humane treatment; (b) be formally and immediately informed of the accusations against him; (c) be brought to trial as promptly as is consistent with the proper preparation of his defense; and (d) enjoy all means reasonably necessary to his defense, including the services of competent counsel of his choice.

### ARTICLE III

1. Nationals and companies of either Party, within the territories of the other Party, shall be accorded treatment no less favorable than that accorded to nationals and companies of any third country with respect to all matters pertaining to the levying of taxes, access to courts of justice, in all degrees of jurisdiction, and to administrative agencies, the making and performance of contracts, rights to property, participation in juridical entities, and generally the conduct of all kinds of business and professional activities.

2. Notwithstanding the provisions of paragraph 1 of the present Article, each Party reserves the right to accord special tax advantages on a basis of reciprocity or by virtue of agreements for the avoidance of double taxation or the mutual protection of revenue.

課税、出訴権、事業活動等

第四条

いずれの一方の締約国の国民及び会社の財産も、他方の締約国の領域内において、不断の保護及び保障を受ける。

第五条

1 いずれの一方の締約国の国民及び会社も、両締約国の領域の間に於ける支払、送金及び資金又は金銭証券の移転に関して、並びに他方の締約国の領域と第三国の領域との間に於ける支払、送金及び資金又は金銭証券の移転に関して、第三国の国民及び会社と与えられる待遇よりも不利でない待遇を与えられる。

2 1の規定は、いずれか一方の締約国が、国際通貨基金協定の締約国として有しており又は有することがある権利及び義務に合致するような為替制限を課することを妨げるものではない。

第六条

1 いずれの一方の締約国も、他方の締約国の製品の輸入に対し、又は当該他方の締約国の領域に仕向けられる製品の輸出に対し、いかなる制限又は禁止もしてはならない。ただし、すべての第三国からの同様の製品の輸入又はすべての第三国への同様の製品の輸出に対し同様に制限又は禁止がされる場

ARTICLE IV

Property of nationals and companies of either Party shall receive the most constant protection and security within the territories of the other Party.

ARTICLE V

1. Nationals and companies of either Party shall be accorded treatment no less favorable than that accorded to nationals and companies of any third country with respect to payments, remittances and transfers of funds or financial instruments between the territories of the two Parties as well as between the territories of the other Party and of any third country.

2. The provisions of paragraph 1 of the present Article do not preclude either Party from imposing such exchange restrictions as are consistent with the rights and obligations that it has or may have as a contracting party to the Articles of Agreement of the International Monetary Fund.

ARTICLE VI

1. Neither Party shall impose restrictions or prohibitions on the importation of any product of the other Party, or on the exportation of any product to the territories of the other Party, unless the importation of the like product from, or the exportation of the like product to, all third countries is similarly restricted or prohibited.

合は、この限りでない。

2 いずれの一方の締約国も、他方の締約国が特別の関心を有する品目の商品の輸入又は輸出に対し量的な制限又は禁止をする場合には、事前に、可能なときはその制限又は禁止の効力発生の一箇月前までに、当該他方の締約国にその旨を通報する。

3 1の規定により許容される輸入の制限又は禁止は、関係国間協定の規定に定める原則及び条件に従い、対外資金状況及び国際収支を擁護するため並びに国内の製造工業を確立し及びその発展を促進するために実施されるものを含む。

4 いずれの一方の締約国も、詐欺的な又は不正な慣行が行われることを防止するため、制限又は禁止をすることができる。ただし、その制限又は禁止は、他方の締約国の通商に対して恣意的な差別をするものであつてはならない。

5 1の規定にかかわらず、いずれの一方の締約国も、商品の輸入又は輸出に対し、当該締約国が前条2の規定により当該輸入又は輸出の時に課することができる為替制限と同等の効果を有する制限又は禁止をすることができる。

## 第七条

関税、課税、徴金、通関手続、輸入若しくは輸出に対し若しくはこれらに関連して課され又は輸入若しくは輸出のための支払手段の国際的移転に対して課されるすべての種類の関税及び課徴金に関し、これらの関税及

2. The Party imposing quantitative restrictions or prohibitions on the importation or exportation of an item of special interest to the other Party shall notify such other Party thereof as far in advance as may be practicable and, whenever possible, one month prior to the entry into effect of such restrictions or prohibitions.

3. Import restrictions or prohibitions that may be allowed under paragraph 1 of the present Article include those applied for the purpose of safeguarding external financial position and balance of payments as well as for the purpose of establishing domestic manufacturing industries and promoting their development, in conformity with the principles and conditions laid down in the provisions of the relevant international agreements.

4. Either Party may impose restrictions or prohibitions in the interest of preventing deceptive or unfair practices provided that such restrictions or prohibitions do not arbitrarily discriminate against the commerce of the other Party.

5. Notwithstanding the provisions of paragraph 1 of the present Article, either Party may impose restrictions or prohibitions on the importation or exportation of products that have effect equivalent to exchange restrictions which such Party may at that time apply under the provisions of paragraph 2 of Article V.

## ARTICLE VII

With respect to customs duties and charges of any kind imposed on or in connection with importation or exportation or imposed on the international transfer of payments for imports or exports, and with respect to the method of



び課徴金の徴収の方法に關し、輸入及び輸出に關連するすべての規則及び手續に關し、輸出貨物に対する内国税の適用に關し、輸入貨物に對し又はこれに關連して課されるすべての内国税その他すべての種類の内国課徴金に關し、並びに輸入貨物の国内における販売、販売のための提供、購入、分配又は使用に影響を及ぼすすべての法令及び要件に關し、いずれか一方の締約国が第三国を原産地とする產品又は第三国に仕向けられる產品に對して与えており又は将来与えることがあるすべての利益、特典、特權又は免除は、他方の締約国の領域を原産地とする同様の產品又は他方の締約国の領域に仕向けられる同様の產品に對し、即時に、かつ、無条件に与えられる。

## 第八条

両締約国は、競争を制限し、市場への参加を制限し、又は独占的支配を助長する事業上の慣行であつて、商業を行ひ一若しくは二以上の公私の企業又はそれらの企業の間における結合、協定その他の取極により行われるものが、それぞれの領域の間における通商に有害な影響を与えることがあることについて、一致した意見を有する。したがつて、各締約国は、他方の締約国の要請がある場合には、それらの事業上の慣行に關して協議し、及びその有害な影響を除去するため適当と認める措置をとることに同意する。

levying such duties and charges, and with respect to all rules and formalities in connection with importation and exportation, and with respect to the application of internal taxes to exported goods, and with respect to all internal taxes or other internal charges of any kind imposed on or in connection with imported goods, and with respect to all laws, regulations and requirements affecting internal sale, offering for sale, purchase, distribution or use of imported goods, any advantage, favor, privilege or immunity which has been or may hereafter be granted by either Party to any product originating in or destined for any third country shall be accorded immediately and unconditionally to the like product originating in or destined for the territories of the other Party.

## ARTICLE VIII

The two Parties agree that business practices which restrain competition, limit access to markets or foster monopolistic control, and which are engaged in or made effective by one or more private or public commercial enterprises or by combination, agreement or other arrangement among such enterprises, may have harmful effects upon commerce between their respective territories. Accordingly, each Party agrees upon the request of the other Party to consult with respect to any such practices and to take such measures as it deems appropriate with a view to eliminating such harmful effects.

第九条

貿易の拡大強化のための協力

両締約国は、公正でかつ安定した基礎の上に両国間の貿易を一層拡大し及び強化するため努力することについて、相互に協力する。

第十条

科学及び技術に関する知識の交換及び利用の促進

両締約国は、両国間の経済関係を強化すること並びに、特にそれぞれの領域内における経済の発展及び生活水準の向上に資するため、科学及び技術に関する知識の交換及び利用を促進することを目的として、相互の利益のため、両締約国のそれぞれの法令に従つて協力することを約束する。いずれの一方の締約国も、自立を基礎とする自国経済の健全でかつ均衡のとれた発展に役立つような他方の締約国の資本又は技術を自国の領域内に導入することを妨げてはならない。

第十一条

海運

1 いずれか一方の締約国の国旗を掲げる船舶で、国籍の証明のため当該一方の締約国の法令により要求される書類を備えているものは、公海並びに他方の締約国の港、場所及び水域において、当該一方の締約国の船舶と認められる。

2 いずれの一方の締約国の商船も、第三国の商船と均等の条件で、外国との通商及び航海のために開放されている他方の

ARTICLE IX

The two Parties shall cooperate with each other in their efforts to further expand and strengthen trade between the two countries on a fair and stable basis.

ARTICLE X

The two Parties undertake to cooperate for mutual benefit with a view to strengthening economic relations between the two countries, and to furthering the interchange and use of scientific and technical knowledge, particularly in the interests of economic development and of the improvement of standards of living within their respective territories, subject to their respective laws and regulations. Neither Party shall hamper the introduction into its territories of capital or technology of the other Party which will contribute to the sound and balanced development of its national economy on a self-sustaining basis.

ARTICLE XI

1. Vessels under the flag of either Party, and carrying the papers required by its law in proof of nationality shall be deemed to be vessels of such Party both on the high seas and within the ports, places and waters of the other Party.

2. Merchant vessels of either Party shall have liberty, on equal terms with merchant vessels of any third country, to come with their

締約国のすべての港、場所及び水域にその旅客及び積荷とともに入ることができる。これらの船舶は、当該他方の締約国の港、場所及び水域において、すべての事項（係留場所の割当て、積卸しの施設の使用、水先人の役務の提供並びに燃料、潤滑油、水及び食糧の補給その他すべての種類の技術上の便益の利用を含む）に関し、第三国の同様の船舶に与えられる待遇よりも不利でない待遇を与えられる。

3 いずれの一方の締約国の船舶も、他方の締約国の領域に又はその領域から商船で輸送することができるすべての貨物及び人を輸送する権利に関し、第三国の同様の船舶に与えられる待遇よりも不利でない待遇を与えられる。これらの貨物及び人は、税関手続その他の手続に関し、第三国の商船で輸送される同様の貨物及び人に与えられる待遇よりも不利でない待遇を与えられる。

4 各締約国は、内水貿易、沿岸貿易及び島嶼間貿易に従事する権利を自国の船舶にのみ留保することができる。もつとゞいずれの一方の締約国の船舶も、常に他方の締約国の法令に従い、外国で積載した旅客若しくは積荷の全部若しくは一部を陸揚げし、又は外国向けの旅客若しくは積荷の全部若しくは一部を積載する目的をもつて、当該他方の締約国の領域内の一の港から他の港に向けて航海を続けることができる。

5 (1) いずれの一方の締約国も、難破、海上損害又は不可抗力による寄航の場合には、他方の締約国の船舶に対し、同様の場合に自国の船舶に与えると同様の援助、保護及び免除を与える。その船舶から引き揚げられた物品は、それが国

passengers and cargoes to all ports, places and waters of the other Party open to foreign commerce and navigation. Such vessels shall in all respects be accorded treatment no less favorable than that accorded to like vessels of any third country within the ports, places and waters of such other Party, including the availability of technical facilities of all kinds, such as the allocation of berths, the use of loading and unloading facilities, pilotage services and supply of fuel, lubricating oils, water and food.

3. Merchant vessels of either Party shall be accorded treatment no less favorable than that accorded to like vessels of any third country with respect to the right to carry all goods and persons that may be carried by merchant vessels to or from the territories of the other Party. Such goods and persons shall be accorded treatment no less favorable than that accorded to like goods and persons carried in merchant vessels of any third country with respect to all customs and other formalities.

4. Each Party may reserve to its own vessels the right to engage in the inland, coastwise and inter-island trade. Merchant vessels of either Party may, nevertheless, proceed from one port to another within the territories of the other Party, either for the purpose of landing the whole or part of their passengers or cargoes brought from abroad, or of taking on board the whole or part of their passengers or cargoes for a foreign destination, always complying with the laws and regulations of such other Party.

5. (1) In case of shipwreck, damage at sea or forced putting in, either Party shall extend to vessels of the other Party the same assistance and protection and the same exemptions as are in like cases accorded to its own vessels. Goods salvaged from such vessels shall be exempt from all customs duties, unless

内における販売、処分又は消費のために搬入された場合を除くほか、すべての関税を免除される。もつとも、国内における販売、処分又は消費以外の目的のため搬入された物品については、それが当該一方の締約国から搬出されるまでは、搬入の保護のための措置をとることができる。

(2) いずれか一方の締約国の船舶が他方の締約国の沿岸で座礁し又は難破した場合には、当該他方の締約国の関係当局は、最寄りの地にある船舶所属国の権限のある領事官に對しその旨を通報する。

6 両締約国は、両国間の国際海運活動が両締約国間の経済、貿易及び通商関係の発展に重要な役割を果たすものであることを認識し、公正でかつ相互に有利な基礎の上に両国間の海運を發展させるため、相互の協力を促進する。

7 いずれか一方の締約国の権限のある当局が発給した船舶の積量測定に関する証書は、他方の締約国の権限のある当局により、その発給した証書と同等のものとして認められる。

8 この条において「商船」には、漁船、工船、娯楽用ヨット及び運動競技用舟艇を含まない。

## 第十二条

両締約国は、油その他の汚染物質の排出により実際に生じた損害又はその排出により生ずるおそれがある損害から海洋資源及びこれと関連を有するその他の資源を保護することの必要性を認識し、その排出の影響を抑さえ、統御し又は最小にするた

the goods are entered for domestic sale, disposition or consumption; but goods not entered for domestic sale, disposition or consumption may be subject to measures for the protection of the revenue pending their exit from the country.

(2) If a vessel of either Party has stranded or has been wrecked on the coasts of the other Party, the appropriate authorities of such other Party shall notify the nearest competent consular officer of the country to which the vessel belongs, of such occurrence.

6. The two Parties, recognizing that international shipping activities between the two countries play a significant role in the development of their economic, trade and commercial relations, shall promote mutual cooperation for the development of shipping between the two countries on a fair and mutually advantageous basis.

7. The certificates concerning tonnage measurement of vessels issued by the competent authorities of either Party shall be recognized by the competent authorities of the other Party as equivalent to the certificates issued by the latter.

8. The term "merchant vessels", as used herein, does not include fishing boats, factory vessels, pleasure yachts and sporting boats.

## ARTICLE XII

The two Parties, recognizing the need to protect marine and other related resources against actual or threatened damage caused by the discharge of oil or other pollutant elements, shall cooperate to contain, control or minimize the effects of such discharge.

めに協力する。

### 第十三条

第五条から第七  
条までの規定は、  
適用除外

第五条から第七条までの規定は、次のものには、適用しない。  
(a) フィリピン共和国が、関係国際協定に従い、東南アジア諸国連合の他の構成国に対し又は開発途上国の間の貿易拡大計画若しくは経済協力計画の下で他の開発途上国に対して与えることがある関税上の特惠その他の利益

(b) 国境貿易を容易にするため隣接国に一般的に与えられる利益と同様の利益でフィリピン共和国がその隣接国に対して与えるもの

(c) いずれか一方の締約国が、関税同盟、自由貿易地域又はこれらを形成するための中間協定への加入の結果与える利益

### 第十四条

この条約の規定は、いずれか一方の締約国が、

(a) 公共の安全若しくは国防又は国際の平和及び安全の維持

一般適用  
除外事項

フィリピンとの友好通商航海条約

### ARTICLE XIII

The provisions of Article V, Article VI and Article VII shall not apply to:

(a) tariff preferences or other advantages which the Republic of the Philippines may grant to other member countries of the Association of Southeast Asian Nations and to other developing countries under a trade expansion or economic cooperation scheme among developing countries, in conformity with the relevant international agreements;

(b) advantages similar to those generally accorded to adjacent countries in order to facilitate frontier traffic which are accorded by the Republic of the Philippines to its adjacent countries; and

(c) advantages accorded by either Party resulting from its association in a customs union or a free trade area, or an interim agreement leading to the formation of a customs union or a free trade area.

### ARTICLE XIV

The provisions of the present Treaty shall not be interpreted as precluding either Party from adopting or executing measures relating to:

(a) the public security or national defense or the maintenance of international peace and security;

- (b) 核分裂性物質又はその原料となる物質
  - (c) 武器、弾薬及び軍需品の取引並びに軍事施設に供給するため直接又は間接に行われるこれら以外の貨物及び資材の取引
  - (d) 公衆道徳の保護及び人、動物又は植物の生命又は健康の保護
  - (e) 金又は銀の貿易
  - (f) 美術的、歴史的又は考古学的価値のある国宝の保護
  - (g) 漁業資源その他の水産資源について最大の持続的生産量を維持するために行う保存及び絶滅のおそれのある水生種に属するものについて行う保護並びに
  - (h) 多数国間の商品協定に基づく義務の履行
- に関する措置を採用し又は実施することを妨げるものと解してはならない。

## 第十五条

1 各締約国は、この条約の運用に影響を及ぼす問題に関し他方の締約国が行う申入れに対して好意的考慮を払うものとし、また、協議のための適当な機会を与える。

2 この条約の解釈又は適用に関する両締約国間の紛争で外交交渉により満足に調整されないものは、両締約国が他の平和的手段による解決について合意しない場合には、国際司法裁

- (b) fissionable materials or the materials from which they are derived;
- (c) traffic in arms, ammunition and implements of war and such traffic in other goods and materials as is carried on directly or indirectly for the purpose of supplying a military establishment;
- (d) the protection of public morals, and of human, animal or plant life or health;
- (e) trade in gold or silver;
- (f) the protection of national treasures of artistic, historic or archaeological value;
- (g) the conservation of fishery and other aquatic resources to maintain maximum sustainable yields and the protection of endangered aquatic species; and
- (h) the fulfillment of obligations under any multilateral commodity agreement.

## ARTICLE XV

1. Each Party shall accord sympathetic consideration to, and shall afford adequate opportunity for consultation regarding such representations as the other Party may make with respect to any matter affecting the operation of the present Treaty.

2. Any dispute between the two Parties as to the interpretation or application of the present Treaty, not satisfactorily adjusted by diplomacy, shall be submitted to the International Court of Justice, unless the two Parties agree to settlement by some other

判所に付託する。

## 第十六条

千九百六十年十二月九日に東京で署名された日本国とフィリピン共和国との間の友好通商航海条約は、この条約の効力発生の時に効力を失う。

## 第十七条

- 1 この条約は、批准されなければならない。批准書は、できる限り速やかに東京で交換されるものとする。
- 2 この条約は、批准書の交換の日の後一箇月で効力を生ずる。この条約は、三年間効力を有するものとし、その後は、3に定めるところにより終了する時まで効力を存続する。

- 3 いずれの一方の締約国も、六箇月前に他方の締約国に対して文書による予告を与えることにより、最初の三年の期間の終わりに又はその後いつでもこの条約を終了させることができる。

- 4 この条約が有効である間はいつでも、いずれか一方の締約国がこの条約の改正を他方の締約国に対して提案する場合に、両締約国は、直ちに協議を行う。

pacific means.

## ARTICLE XVI

The Treaty of Amity, Commerce and Navigation between Japan and the Republic of the Philippines signed at Tokyo on December 9, 1960 shall expire upon the entering into force of the present Treaty.

## ARTICLE XVII

1. The present Treaty shall be ratified, and the instruments of ratification shall be exchanged at Tokyo as soon as possible.
2. The present Treaty shall enter into force one month after the day of the exchange of the instruments of ratification. It shall remain in force for three years and shall continue in force thereafter until terminated as provided for in paragraph 3 of the present Article.
3. Either Party may, by giving a six-month written notice to the other Party, terminate the present Treaty at the end of the initial three-year period or at any time thereafter.
4. If, at any time during the validity of the present Treaty, either Party proposes to the other Party amendments to the present Treaty, the two Parties shall enter into immediate consultation.

フィリピンとの友好通商航海条約

以上の証拠として、下名は、この条約に署名調印した。

千九百七十九年五月十日にマニラで、日本語、フィリピン語及び英語により本書二通を作成した。解釈に相違がある場合には、英語の本文による。

日本国のために

大平正芳

園田 直

フィリピン共和国のために

フェルディナンド・E・マルコス

カルロス・P・ロムロ

一〇三二

IN WITNESS WHEREOF the undersigned have signed the present Treaty and have affixed thereunto their seals.

DONE at Manila, this tenth day of May, one thousand nine hundred and seventy-nine, in duplicate, in the Japanese, Filipino and English languages. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

FOR JAPAN:

Masayoshi Ohira

Sunao Sonoda

FOR THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES:

Ferdinand E. Marcos

Carlos P. Romulo



議定書

前 文

日本国とフィリピン共和国との間の友好通商航海条約（以下「条約」という。）に署名するに当たり、下名は、条約の不可分の一部をなす次の規定を更に協定した。

永住の許可  
及び永住の許可に関するすべての事項は条約の範囲外であることが了解される。

2 条約第一条の規定に関し、いずれの一方の締約国も、他方の締約国が相互主義に基づく特別の取極により第三国の国民に対して与えており又は将来与えることがある旅券及び査証に関する事項についての利益の享受を要求する権利を与えない。

会社の定義  
条約において「会社」とは、営利を目的とする事業活動に従事する社団法人、組合、会社その他の団体をいう。

4 条約第三条1の第三国に与える待遇よりも不利でない待遇の許与に関する規定に関し、いずれの一方の締約国も、不動産に関する権利及び自由職業に従事する権利の享有については、前記の不利でない待遇が相互主義に服すべきことを要求することができる。

5 条約第三条1及び条約第十条の規定に関し、いずれの一方の締約国の国民及び会社も、他方の締約国の領域内において、投資の許可、会社の組織並びに支店、代理店その他の事務所

At the time of signing the Treaty of Amity, Commerce and Navigation between Japan and the Republic of the Philippines (hereinafter referred to as "the Treaty"), the undersigned have further agreed on the following provisions, which shall be considered integral parts of the Treaty:

1. With reference to the provisions of Article I of the Treaty, it is understood that the term "residence" does not include permanent residence and that all matters relating to the permission for permanent residence shall be outside the scope of the Treaty.

2. With reference to the provisions of Article I of the Treaty, neither Party shall be entitled to claim the benefit of those advantages relating to matters concerning passports and visas which the other Party has accorded or may hereafter accord to nationals of any third country by virtue of special agreements on a basis of reciprocity.

3. As used in the Treaty, the term "companies" means corporations, partnerships, companies and other associations, engaging in business activities for gain.

4. With reference to the provisions of paragraph 1 of Article III of the Treaty, relative to the grant of treatment no less favorable than that accorded to any third country, either Party may require that such treatment shall be dependent on reciprocity with respect to the enjoyment of rights on immovable property and of the right to practice the professions.

5. With reference to the provisions of paragraph 1 of Article III and the provisions of Article X of the Treaty, nationals and companies of either Party, within the territories of the other Party, shall be accorded

P R O T O C O L

待遇

の設置及び維持について、第三国の国民及び会社に与えられる待遇よりも不利でない待遇を与えられる。

無体財産権

6 条約のいかなる規定も、著作権及び工業所有権に関し、いかなる権利も許し又はいかなる義務も課するものと解してはならない。

第三国国民が支配的の利益を有する会社に對する条約上の利益の制限

7 条約の規定は、すべての審級にわたり裁判所の裁判を受ける権利及び行政機関に対して申立てをする権利を除くほか、いずれか一方の締約国が、第三国の国民がその所有又は管理について直接又は間接に支配的の利益を有する他方の締約国の会社に対して条約に定める利益を拒否することを妨げるものと解してはならない。

財産の制限及び正当な補償

8 条約第四条の規定に関し、いずれの一方の締約国の国民及び会社の投資財産も、他方の締約国の領域内において、公用若しくは公益又は国民の福祉若しくは国防のため正当な補償が不当に遅延することなく行われる場合を除くほか、収用、国有化又はこれらと同等の制限の対象とはならない。

ガット及び國際通貨基金協定に基つて有する権利及び義務

9 条約のいかなる規定も、いずれか一方の締約国が、関税及び貿易に関する一般協定若しくは國際通貨基金協定又はこれらを改正し若しくは補足する多数国間の協定の締約国として有しており又は有することがある権利及び義務については、両締約国が当該協定の締約国である限り、影響を及ぼすものではない。いずれか一方の締約国がそのいずれかの協定の締約国でなくなつた場合には、両締約国は、その時の事情に照

treatment no less favorable than that accorded to nationals and companies of any third country with respect to the admission of investments, the organization of companies, the establishment and maintenance of branches, agencies and other offices.

6. Nothing in the Treaty shall be construed so as to grant any right or impose any obligation in respect of copyright and industrial property right.

7. Except with respect to access to courts of justice, in all degrees of jurisdiction, and to administrative agencies, the provisions of the Treaty shall not be interpreted as precluding either Party from denying the advantages of the Treaty to any company of the other Party in the ownership or direction of which nationals of any third country or countries have directly or indirectly the controlling interest.

8. With reference to the provisions of Article IV of the Treaty, investments of nationals and companies of either Party in the territories of the other Party shall not be subject to expropriation, or nationalization or any deprivation of use tantamount thereto, except for public use or in the public interest, or in the interest of national welfare or national defense and upon payment of just compensation without undue delay.

9. Nothing in the Treaty shall affect the rights and obligations that either Party has or may have as a contracting party to the General Agreement on Tariffs and Trade or the Articles of Agreement of the International Monetary Fund or any multilateral agreement amendatory or supplementary thereto, so long as the two Parties are contracting parties to the relevant agreement or agreements. In case either of the two Parties has ceased to be a contracting party to any of such agreements, the two Parties shall immediately consult with

らし、条約の貿易、為替又は関税に関する規定について改正を必要とするかどうかを決定するため、直ちに相互に協議する。

10 条約第六条<sup>3</sup>及び条約第十三条<sup>(a)</sup>の規定に関し、「関係国際協定」とは、関税及び貿易に関する一般協定及びこれを改正し若しくは補足する多数国間の協定をいうことが了解される。

11 条約第七条の規定の適用上、次に掲げるものは、一方の締約国の領域を原産地とする産品とする。

(a) 当該一方の締約国の船舶によつて採捕された魚類その他の天然の海産物

(b) 海上において当該一方の締約国の船舶内で魚類その他の天然の海産物から生産され又は製造された産品

この11の規定は、いずれの一方の締約国の国民及び会社に対し、他方の締約国の漁業管轄権の下にある漁業資源その他の水産資源を利用し及び開発し、又はその管轄権の及ぶ水域においてこれらの資源に関して工船を運転するいかなる権利又は特権も与えるものと解してはならない。

12 条約第十一条<sup>2</sup>及び<sup>3</sup>の規定に関し、両締約国は、外国船舶の待遇について国際的に行われている海運上の慣行を遵守する。

13 条約第十一条<sup>6</sup>の規定に定める海運の発展のための相互協力には、両国間の積荷の輸送についての両国の海運業による公正でかつ相互に有利な参加のための協力が含まれる。

each other with a view to determining whether, in the light of circumstances then prevailing, any adjustment may be necessary with respect to the provisions of the Treaty relating to trade, exchange or customs.

10. With reference to the provisions of paragraph 3 of Article VI and paragraph (a) of Article XIII of the Treaty, it is understood that the term "relevant international agreements" means the General Agreement on Tariffs and Trade and any multilateral agreement amendatory or supplementary thereto.

11. For the purpose of the provisions of Article VII of the Treaty, the following items shall be deemed to be products originating in the territories of either Party:

(a) fish and other natural produce of the sea taken by vessels of such Party; and

(b) products produced or manufactured at sea in vessels of such Party from fish and other natural produce of the sea.

Nothing herein contained shall be construed so as to grant nationals and companies of either Party any right or privilege to utilize and exploit the fishery and other aquatic resources under the fisheries jurisdiction of the other Party, or to operate in connection therewith factory vessels within such jurisdiction.

12. With reference to the provisions of paragraphs 2 and 3 of Article XI of the Treaty, the two Parties shall observe internationally applied shipping practices in the treatment of foreign vessels.

13. The mutual cooperation for the development of shipping envisaged in the provisions of paragraph 6 of Article XI of the Treaty includes cooperation for a fair and mutually advantageous participation by the shipping of the two countries in the carriage of

汚染物質の排出の際の措置

条約第十三条(b)の規定にいう利益

平和条約第二条に對する者に対する待遇の適用除外

末文

14 条約第十二条の規定に關し、いずれか一方の締約国の船舶により、他方の締約国の環境を害し又は害するおそれがある油その他の汚染物質が排出された場合には、当該一方の締約国は、当該他方の締約国の要請があるときは、可能な範囲内でかつ自国の法令に従い、その排出の影響を押さえ、統御し又は最小にすることにつき当該他方の締約国を援助するためすべての可能な措置をとる。

15 条約第十三条(b)の規定にいう利益は、フィリピン共和国がインドネシア共和国及びマレーシアに対して与えるものを指す。

16 条約のいかなる規定も、フィリピン共和国に対し、日本国が、専ら、千九百五十一年九月八日にサン・フランシスコ市で署名された日本国との平和条約第二条の規定に基づいて日本国がすべての権利、権原及び請求権を放棄した地域に原籍を有する者に対して与えており又は将来与えることがある権利及び特権の享受を要求する権利を与えるものと解してはならない。

以上の証拠として、下名は、この議定書に署名調印した。

千九百七十九年五月十日にマニラで、日本語、フィリピン語及び英語により本書二通を作成した。解釈に相違がある場合には、英語の本文による。

cargoes between them.

14. With reference to the provisions of Article XII of the Treaty, in the event of discharge of oil or other pollutant elements caused by a vessel of either Party, that damages or threatens to damage the environment of the other Party, the former Party shall, upon request of the latter Party, take all possible measures, within its capability and in accordance with its laws and regulations, to assist the latter Party in containing, controlling or minimizing the effects of such discharge.

15. Advantages referred to in the provisions of paragraph (b) of Article XIII of the Treaty are those accorded by the Republic of the Philippines to the Republic of Indonesia and to Malaysia.

16. Nothing in the Treaty shall be construed so as to entitle the Republic of the Philippines to claim the benefit of those rights and privileges which are or may hereafter be accorded by Japan exclusively to persons who originated in the territories to which all right, title and claim were renounced by Japan in accordance with the provisions of Article 2 of the Treaty of Peace with Japan signed at the city of San Francisco on September 8, 1951.

IN WITNESS WHEREOF the undersigned have signed the present Protocol and have affixed thereunto their seals.

DONE at Manila, this tenth day of May, one thousand nine hundred and seventy-nine, in duplicate, in the Japanese, Filipino and English languages. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

---

日本国のために

大平正芳

園田 直

フィリピン共和国のために

フェルディナンド・E・マルコス  
カルロス・P・ロムロ

---

FOR JAPAN:

Masayoshi Ohira

Sunao Sonoda

FOR THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES:

Ferdinand E. Marcos

Carlos P. Romulo